



日本聖公会
大阪教区教務局
〒545-0053
大阪市阿倍野区
松崎町2-1-8
TEL 06-6621-2179
FAX 06-6621-3097
発行責任者
教務局長 司祭 原田光雄

〈HP〉 <http://www.nskk.org/osaka/index.htm> 〈e-mail〉 office.osaka@nsk.org

第446号 2015年12月20日発行

「闇の中でも主はわたしを見ておられる。夜も光がわたしを照らし出す。」
(詩篇139・11)

詩人は語ります。「主はわたしのすべてを知っておられ、わたしを守っていてくださる。闇の中でも」と。この詩編を思い巡らしながら、目を閉



祝クリスマス

夜も光が

じると、私の心に二つの光景が浮かんで参ります。一つはヤコブの夢物語(創世記28章)です。ヤコブは固い石を枕に眠っています。荒野の中でひとり寂しく横になっていきます。ヤコブは逃亡の身でした。兄エサウを出し抜き、年老いた父イサクも騙しました。ヤコブは見知らぬ遠い国を目指

していましたが、彼は身も心もすっかり疲れ果てていました。夢の中で、梯子が見えました。梯子は地面から天まで伸び、人々が上ったり下ったりしています。ヤコブは彼らが神の所から来て、また神の所へ帰っていくのだと思いましたが。その時、神の光がヤコブを照らしました。神がヤコ

ブの孤独で疲れ果てた心に触れられたのです。ヤコブが翌朝目覚めた時、神が共におられることを感じ、力を得て更に先へと進んでいくことができました。もう一つは、羊飼いたちが野原で羊の番をしている光景です。(ルカ2章) 燃える炎を見つめています。背中が冷

えていました。寒い荒野の夜です。荒野の暗さといったら、半端ではありません。真っ暗です。羊飼いたちは貧しく、テント暮らしで決まった住居は持たぬ人々でした。彼らはどのような話をしていただでしょうか。羊たちのこと、自分たちの貧しさのこと、お腹を空かし

ている家族のこと…。ところがどうしたことでしょうか。彼らの傍らに、今まで一度も会ったことのない人が立ちました。その人がこのようなことを言うのです。「怖がらなくていいですよ。あなたがたに大きな喜びをプレゼントします。一人の赤ちゃんが生まれます。あなたがたの救い主



主教 アンデレ 磯 晴久

であり、助け手となる方です。新しい道が始まります。さあ、行ってその子を探しなさい。」羊飼いたちは、びっくりして最初は動けませんでした。しばらくして、炎に照らされる中、顔を見合わせ、「あれは神の使い、天使だ」と言い合いました。彼らは飛び上がり、赤ちゃんを探すため出かけて行きました。神が彼らの心を照らししました。彼らは真っ暗闇の中でも神が共にいてくださることを知りました。そして赤ちゃんを探しあて、この赤ちゃんと共に神の平和がやってきたことを知りました。

皆様も詩篇139編を思い巡らしながら、幼子イエスの誕生・クリスマスを迎えますよう。「闇の中でも主はわたしを見ておられる。夜も光がわたしを照らし出す。」ハレルヤ。(いそ はるひさ・大阪教区 主教)

磯主教、初の教区礼拝

戦後70年、平和を希求する礼拝と集会開催

司祭 ペテロ 齊藤 壹

2015年度の大阪教区礼拝は、10月4日(日)午前10時30分より、天候にも恵まれ、プール学院勝山キャンパス「清心館」において開催された。今回は、4月18日(土)に

大阪教区第8代教区主教に挨拶された磯晴久師父の、教区主教として初めての教区礼拝となった。

また、今年は戦後70年の年でもあり、平和を希求するというテーマのもとに礼拝が行われ、主教の許可を得て、公会暦の日課にはよらない平和を想起させてくれる個所の旧約聖書(イザヤ2:1~5)、詩編(85:1~13)、使徒書(一テサロニケ5:12~24)、福音書(マタイ5:1~12)を選び、教区主教による説教がなされた。

代祷は、8月15日に京都教区宣教局と大阪教区宣教部礼拝・音楽委員会の共催によって奈良基督教会で開催された「平和礼拝」で用いられたものを参考にして作成させていただいた。出席者は464人であった。信施は、午後の講師が関わられている「市民非暴力・不服従運動」のために



329,954円が献げられた。午後は「戦後70年記念講演」を午後1

時半から清心館で開催し、「戦後70年、いま平和が危ない」キリスト者としてどう向き合うか」と題して、池住義憲氏(中部教区信徒、元立教大学大学院特任教授)の講演をお聴きした。

同氏は「自衛隊イラク派兵

差し止め訴訟(2004年2月~2008年4月)の原告代表として、名古屋高裁で違憲判決を勝ち取った経験をお持ちの方である。昨今の永田町で起こっていること、今後の取り組み、憲法解釈の編纂、安全保障と平和の違い、キリスト者としてどう向き合うか等、平易にしかし熱く語って下さった。時あたかも安全保障関連法案が参議院本会議で強行採決された後でもあり、教区礼拝午後のプログラ

ムとしては多いと言える132人の参加があった。なお、昼食時には午後の講演への配慮から例年の「キッズ広場」は控え、代わりに、楽しい「キッズパレード」と夏の行事報告・写真展示が行われた。教区礼拝の開催に際して、プール学院、教区の諸団体、礼拝奉仕者、有志各位のご協力を頂きましたことを感謝いたします。(さいとう はじめ、式典長・宣教部長)

日本聖公会大阪教区教区礼拝説教

主教 アンデレ 磯 晴久

平和を実現する人々は、幸いである。(マタイ5:9)

今年2015年はアジア・太平洋戦争が終結して70年に当たります。日本の敗戦によって戦争は終結しました。1931年~1945年この15年戦争だけでも、アジア太平洋地域の人々約2千万人も犠牲者(日本による植民地支配と侵略行為はアジアの人々に大きな苦しみと犠牲を

もたらした)、国内にあっては唯一の地上戦となった沖繩戦を筆頭に、本土への激しい空襲、広島、長崎への原爆投下によって、沢山の民間人を含む310万人(米軍兵士、外国人捕虜も含む)もの犠牲者がありました。こんなにも多くの尊い「いのち」が失われたのです。

日本聖公会では、戦後70年にあたり6月には沖繩、8月には広島、長崎、奈良(京都

大阪教区合同)を始め、日本各地で平和記念礼拝が行われ、犠牲者を悼み、今後こうした惨禍をどんなことがあっても繰り返さないという祈りと決意が、ささげられました。わたしたちの教区礼拝も(戦後70年平和を希求して)という主題の下、集められました。私は広島での平和記念礼拝に参加した折、広島平和記念公園で、次のような、詩碑を目にしました(平和記念資料館



北側、元安川沿い)。
峠（とうげさんきち）
三吉さんの有名な詩で
す。
ちちをかえせ
ははをかえせ
としよりをかえせ
こどもをかえせ
わたしをかえせ
わたしにつながる
にんげんをかえせ
にんげんの
にんげんのよのあるかぎり
くずれぬ へいわを
へいわをかえせ

峠さんは、プロテストヤント
詩人。横浜で空襲に遭遇し、
そのために帰郷した広島で被
爆、後遺症のため36歳の若さ
で逝去されました。峠さんは
戦後、被爆体験を原点到、反
原爆と平和活動に全身全霊を

ささげた方でした。朝鮮戦争
の時、米国占領軍によって原
爆反対運動への圧力が高まり
ます。更にトルーマン大統領
が朝鮮戦争に原爆使用があり
うると発言、そのことに衝撃
をうけた峠さんは、今までし
たためてきた詩を、原爆詩集
として編纂。1951年ベル
リンで行われた全世界青年学
生平和祭で、日本の代表作の
一つとして紹介され、世界的
な反響を呼んだ詩です。すべ
てがひらがなで記されている
ため、衣や飾りを脱ぎ捨てた、
戦争・原爆への怒りと平和を
求める生の叫びが聞こえてく
る詩です。戦争とはどうい
うものであるか、戦争のこのよ
うな惨禍は、今後どのような
ことがあっても繰り返さない
という心の叫びが聞こえて参
ります。

ります。

こうした叫びは世界各地で
起こりました。しかし無念で
ありますのは、戦後70年たっ
ても、今も世界の各地で、悲
惨な戦争が繰り返され、多く
の犠牲者と難民、痛み・悲し
み・苦しみの中にある人々が
出ているということです。「い
のち」が、軽んじられ、ない
がしろにされ、破壊されてい
ます。さらに、日本も平和憲
法を捨て、戦争できる国にな
ろうとしています。

今日

今日

今日

今日

今日

東日本大震災5年
記念礼拝
司式 司祭 テモテ 内田 望
説教 主教 アンデレ 磯 晴久
2016年3月11日(金)
18時~19時(夕の礼拝)
日本聖公会 大阪聖パウロ教会
献金は、小名浜聖テモテ幼稚園の
室内遊具購入のためにお献げいたします。
お問い合わせ
堺聖テモテ教会 TEL 072-261-2015
主催/大阪教区宣教部礼拝・音楽委員会

第115(定期)教区会開会演説

イエス・キリストを人々に紹介し、
イエス・キリストを生きる教会へ

主教 アンデレ 磯 晴久

〈感謝〉

日本聖公会大阪教区第115(定期)教区会開催にあたり、感謝を申し上げます。本日は国民の祝日にもかかわらず、本教区会のために、お集まり下さり、心より感謝申し上げます。日ごろの皆様のお働き、特に教区諸活動へのご支援とご理解に重ねて感謝申し上げます。また足かけ7年大阪教区第7代の主教としてお働き下さり、今も大阪教区に留まり、囑託としてご奉仕下さっている大西修主教に感謝申し上げます。

れからが始まりであります。私は主教という任には全くふさわしくない、欠け多き者です。皆様どうぞよろしくお願い致します。

〈世界・日本〉

世界の状況を見つめますと、戦争・紛争・テロ・難民流出・病気や飢餓が世界を覆っているように感じます。再び紛争の世紀に入ったようです。また日本政府も、戦争できる国へと大きく舵を切ろうとしています。私たちのことも平和を祈り求めて参りたいと存じます。ムスリムへの差別意識、排外主義を持たないように、テロと同時に空爆によって一般民衆が犠牲となっていくことなどを忘れないように、と願います。

東日本大震災から4年8カ

月が経ちましたが、今もなお復興にはほど遠い厳しい現実が被災者の上にのしかかっています。原発事故による目に見えない放射能汚染は、多くの人々を恐れと不安、危険の中に置き去りにしたままです。祈りと支援を続けましょう。

〈管区〉

今年2015年はアジア・太平洋戦争が終結してから70年目に当たり、主教会より戦後70年のメッセージが出されました。これを受けて、6

月沖繩、8月広島と長崎での平和礼拝がささげられ、9月神戸での正義と平和講演会が開催されるなど、各地で平和を求める祈りと、研修、行動がなされました。またこの主教会メッセージを受けて、大韓聖公会主教院から応答のメッセージがあり、共に小さな群れではあるが、「平和のしるし」「和解の道具」としての役割を担おうとの励ましを頂きました。

東日本大震災被災者の働きは、「いっしょに歩こう！パ

発と放射能に関する特別問題プロジェクト」、東北教区としては被災者支援室「だいに・東北」の活動が続けられています。いわき市小名浜での「聖テモテ・ボランティア・センター」での働きに、当教区から出向していた木村幸夫司祭は、6月に任を現地の人々に引き継ぎ、帰阪されました。当地でのお働きに感謝申し上げます。大阪教区としては、今後ともつながりを継続していきたいと願っています。

6月20日(土)〜23日(火)には沖繩週間・沖繩の旅がありました。辺野古への基地移転建設に対して、深い関心を寄せ、沖繩の人々と連帯して反対の意を表明したく存じます。

〈大阪教区〉

3月21日(土)フランチエスコ成岡宏晃聖職候補生の執事按手式が東豊中聖ミカエル教会で行われ、東豊中聖ミカエル教会牧師補に任命されました。ペテロ金山将司聖職候補生は、今春ウイリアムス神学館を卒業し、芦屋聖マルコ教会で勤務しております。

4月1日付けで、施洗者ヨハネ山本眞司祭は西宮聖ペテロ教会牧師、ジョイ千松清美司祭は石橋聖トマス教会牧師に任命されました。ロスアンジェルス教区から3年間の出向ということで、金アンデレ正司祭を迎え、聖ルシヤ教会副牧師、プール学院大学・短大・中高チャプレン補として勤務して頂いています。カナダ聖公会から大阪教区にウイリソン・ウォーレン司祭を迎え、大阪聖パウロ教会副牧師を中心に、聖ガブリエル教会と川口基督教会で勤務をして頂いています。両氏への歓迎と共に、今後のお働きに期待するものであります。

昨年の教区会以降、高野晃一主教、木川田一郎主教、小池虔二司祭、名出望司祭が逝去されました。教区への貢献を感謝し、主にある平安をお祈りします。

博愛社創立125周年、大阪聖パウロ教会創立130周年、守口ぶどうの家設立10周年とそれぞれ記念行事が行われました。神の祝福と更なる発展をお祈りします。



平和ということに関して、教区においてもいろいろな取り組みや平和行動への参加がなされました。8月15日(土)奈良基督教会において、京都教区と共催で「平和礼拝」、10月4日(日)には「平和」をテーマに、教区礼拝がプール学院勝山キャンパス清心館で行われ、午後には「憲法9条・平和憲法が今危ない」のテーマで池住義憲さんによる講演会が実施されました。

京都教区との合併を視野に入れた教区間協働に関しては、私は推進派であります。課題は沢山ありますが、よき化学反応が起これと信じて、協議を進めて参りたいと願っております。

台湾聖公会との協働関係につきましましては、台湾交流委員会の報告をご覧ください。来年3月には、私が台湾聖公会

です。「高齢化、若者がいない(生涯学習委員会の取り組み、グループの働き、京都との協働など小さな芽は伸びつつあります)、財政的にしんどい、具体的

教区会に招待されていますので、大阪教区より訪問団を募集したいと考えています。

10月3日(土)には大韓聖公会宣教125周年記念礼拝がさげられました。教区礼拝との兼ね合いで、大阪教区から代表を派遣できませんでしたが、今後の宣教協働について深めて参りたいと思います、2016年には済州島での研修を考えております。

日韓協働の歩みから、もう一度国内では、聖ガブリエル教会、聖公会生野センターの働きを、大阪教区の中でしっかり位置づけていく必要があります。

今私は大阪教区内の教会を巡回させて頂いています。各教会が宣教・伝道活動に熱心に取り組んでおられることに敬意を表します。と同時に、声なき声(悲鳴)を聴いております。

な宣教方策を決めることができな、教会内のコミュニケーションがうまく取れていない、どうすればいいのか、自信を失っている…」―私自身も、これはとても人間的な考え・思いですが、危機感を持っていきます。このままだと大阪教区は緩やかに倒れていくのではないだろうか。しかし、わたしたちには、神が共にいて、伝道・宣教の使命が与えられています。どうすればいいのでしょうか。

私たちがルーツは、英国聖公会ですが、最初の宣教師・聖パトリックは400年代後半、最初の修道院アイオナができるのが500年代後半、今英国聖公会は1500年ほどの歴史を持ちます。日本聖公会は150年。わたしたちは、まだ初代教会の時代にいるのではないのでしょうか。「イエス・キリストのことを人々に紹介し、イエス・キリストを生きたこと」がわたしたちの使命ではないでしょうか。

今私は、教会の将来像を祈り求めています。私は主教に就任するに際し、「初代教会に学ぶ」というビジョンを与えられました。使徒言行録2章42節以下に「彼らは、使徒の教え、相互の交わり、パンを裂くこと、祈ることに熱心であった。…すべての物を共有し、…皆がそれを分け合った。」とあります。

えられました。使徒言行録2章42節以下に「彼らは、使徒の教え、相互の交わり、パンを裂くこと、祈ることに熱心であった。…すべての物を共有し、…皆がそれを分け合った。」とあります。

こうした4つのことを柱に、さらに聖公会の「宣教の5指標」(今号より連載開始)についての学びも深めて参りたいと存じます。教区ではすでに、教会奉仕者の学び、信徒の学び、礼拝・音楽についての学び、信徒奉仕者の学び、歴史の学び、社会宣教についてなど、随分前から実施されています。積極的な参加をよろしく願います。各教会において、学びの時を持っていたきたいと願っております。しんどい時こそ、学ぶこと、育てることを大事にしないとイケないと私は確信しています。

先日、私は生まれて初めて入院するという経験をいたしました。その時、担当の元気の良い看護師さんが、挨拶に病室に来られて、第一声「わたしたちはチームですから、磯さん安心してください」。大阪教区もいよいよチームミニストリーの時が来たと感じております。1人の牧師では、この複雑な社会の中で、教会を運営していくことは難しくなっています。2人で3つの教会、3人で5つの教会という風に考えていきます。

皆さまも、是非教会の協働(聖公会はブリッジチャーチですから、各教会の間にも橋を架けましょう)あるいは、教会の合同・合併(新しい教会を創造しよう)ということも視野に話し合いを進めて下さい。すでに豊中3教会は、具体的なモデルとして参考になると考えます。ただ聖職も教会も、「共に生きる」ことを大切に語りながら、協働するのに慣れていません。まことに不器用です。しかし不

「チームミニストリーについて」

先日、私は生まれて初めて入院するという経験をいたしました。その時、担当の元気の良い看護師さんが、挨拶に病室に来られて、第一声「わたしたちはチームですから、磯さん安心してください」。大阪教区もいよいよチームミニストリーの時が来たと感じております。1人の牧師では、この複雑な社会の中で、教会を運営していくことは難しくなっています。2人で3つの教会、3人で5つの教会という風に考えていきます。

皆さまも、是非教会の協働(聖公会はブリッジチャーチですから、各教会の間にも橋を架けましょう)あるいは、教会の合同・合併(新しい教会を創造しよう)ということも視野に話し合いを進めて下さい。すでに豊中3教会は、具体的なモデルとして参考になると考えます。ただ聖職も教会も、「共に生きる」ことを大切に語りながら、協働するのに慣れていません。まことに不器用です。しかし不

第115(定期)教区会

報告と議案の記録

第115(定期)教区会は、去る23日(月/休)、主教座聖堂(川口基督教会)で、午前9時、礼拝堂における開会礼拝(聖餐式)をもって始まった。当日の信施は、イスラエルにより50年もの間、占領・爆撃で生命や生活を脅かされているパレスチナの子どもたちのために、代祷とともに献げられ、認定NPO法人「パレスチナ子どものキャンペーン」を通じて5万6560円が送金された。

議場は会館3階で、議員資格調査委員など、議会運営のための諸委員と補助書記の指名に続き、議員・代議員の点呼が行われた。教役者議員17人のうち15人、信徒代議員36人全員、合計51人の出席を得て教区会は成立。主教演説(前ページ記載)に引き続き、常置委員会をはじめ諸委員会等の報告が行われた。今教区会は、磯晴久主教が議長を務め

られた最初の教区会となったが、5つの議案審議も短時間で滞りなく進み、常置委員等の選挙と指名もおおむね順調に経過し、すべての日程は予定より約1時間早く午後4時頃に終了した。

当日の書記は千松清美司祭、古澤秀利司祭。補助書記は金山将司・聖職候補生、ヒュームユーワン神学生。

支出の減額分の大きな要因は①教会補助金(160万円余減)②今年度の人事異動の結果によるもの、②予備費(120万円余減)、③教務局費(50万円減)。②③ともに、来年度は教区主教按手式など式典や祝会に備える費用が発生しないことによる。一方、増額されているのは、教役者移転費(30万円増)、通信費(23万円増)、職員俸給(20万円増)、職員交通費(15万円増)、教区館費(15万円増)など。

1. 議案審議と決議

議案は下記の5つで、すべて原案どおり可決された(《》内は提出者)。

《常置委員会》
堺聖テモテ教会の信徒、故

(1) 議案第1号 2016年度日本聖公会大阪教区一般会計予算(案) 承認の件

(2) 議案第2号 宗教法人日本聖公会尼崎聖ステパノ教会基本財産変更承認の件

《財務委員会》
総額は、前年度比200万円減の4000万円。収入のうち、各教会が分担する教区費総額は前年度比100万円減の3700万円。特別積立

1982年、現在地に移転した尼崎聖ステパノ教会は、当地で礼拝堂を建設したものの、牧師館については敷地内の戸建住宅をそのまま使用していた。今春、ようやく牧師館が新築され、その際、駐車場も整備された。この件に関しては昨年の定期教区会で議

(前頁よりつづく)
器用な人が、何かを身に付けてた時にはひとかどの人になるのではないだろうか。
聖餐式で奉仕者が入堂するとき、手を合わせて歩きます。

神様にすべてをお委ねしておりますというしるしです。神様にお委ねして、神様が応援して下さいと信じて、2016年に向かって歩み出しましょう。

案「基本財産変更承認の件」が可決されているが、今回、礼拝堂(2階建て)にエレベーターが信徒有志の献金で設置されることになり、これを承認することになった。

なお、議事録には具体的な金額を記載するが、教区報では省略した。

(3) 議案第3号 故久野利子氏からの遺贈資産の受け入れを承認する件

(4) 議案第4号 「日本聖公会大阪教区神学生助成金及び奨学金規程」改正の件

《常置委員会》
久野利子氏からの遺贈資産、現金相当額と、土地・建物(堺市内)を当教区として感謝をもって受贈することを承認。

《常置委員会》
標記規程の第5条が次のように改正された。

現金に関しては、教区に10ある特別会計のうち、以下の3つに適宜振り分けて繰り入れる。①特定資産保守引当金②災害緊急支援資金③海外宣教資金。

・改正された第5条(新)
教区に在籍しない神学生について、教区主教が必要と認められた場合、常置委員会および聖職養成委員会に諮ったうえで、本規程を準用することができる。教区主教はその準用について神学生後援会理事會に報告しなければならない。

※「特定資産保守引当金」は、教区の資産である教区館や主教館等の補修のための資金。

・改正前の第5条(旧)
教区に在籍しない神学生について、教区主教が必要と認められた場合、常置委員会、聖職



養成委員会および神学生後援会理事會に諮ったうえで、本規程を準用することができる。

本規程は、当教区に在籍する「教区神学生」に対し、本人の申請を受けて助成金を支給し奨学金を貸与して支援することを目的とするものであるが、第5条には、「教区に在籍しない神学生」についても言及があり、必要と認められれば支援することができる、と定められている。

「教区に在籍しない神学生」について教区主教が必要と認めた場合、諮るべき部署

が旧規程では3つあったが、このうち「神学生後援会理事會」を削除し、「常置委員会」と「聖職養成委員会」のみとすることとなった。これは、2010年度第104(定期)教区会で確定した、後援/養成資金の「後援会会計」から「教区会計」への移行や、関係する規則の「後援会規程」から「教区諸規則」への移行の趣旨に沿うもので、聖職・教役者につながる「教区神学生の養成を、教区自身が主体性と責任をもって担うべき働きとして、名実ともに明確に位置づける」ということを表わす。

なお、この第5条の改正については、神学生後援会理事會にも打診され、同理事會の賛同を得ている。

(5) 議案第5号 「大阪教区と京都教区の合併を推進する委員会」の任期を延長する件《常置委員会》

2013年の第110(定期)教区会で設置された「大阪教区と京都教区の合併を推進する委員会」は、昨2014年の定期教区会における中間報告を経て、本来なら、今教区

会で「合併」に関する最終報告を行い、その任を終えることになっていた。しかし、両教区内の議論は未だ不十分であると判断され、さらに検討を深め、両教区における一致した意見形成に努めるため、任期を1年間延期することとなった。2016年の定期教区会において最終報告が行われる。

なお、京都教区においても、大阪教区と同日の定期教区会で同じ内容の議案が提出、審議され、可決された。

2. 選挙と指名

常置委員、総会代議員の選挙結果、会計検査委員の指名は次のとおり(長以外、五十音順、一内は所属教会/一内は補欠)。

*常置委員(選挙/任期1年) 聖職II司祭 岩城聰(長)、司祭 山本眞、司祭 竹林徑一(司祭 内田望) 信徒II鈴木光子(ステパノ)、長野泰信(書記)「トマス」、畑野めぐみ「マルコ」へ辻節子「トマス」

*総会代議員(選挙/任期.. *委員長、書記は互選。

総会公示日/次の公示日前日)

聖職II司祭 岩城聰、司祭 山本眞(①司祭 竹林徑一、②司祭 内田望) 信徒II長野泰信「トマス」、畑野めぐみ「マルコ」(①鈴木光子「ステパノ」②豊川雅章「聖愛」)

*会計検査委員(教区主教指名/任期1年) 佐藤正子「マルコ」、春名英夫「マタイ」

(2015年12月「教務局だより」をもとに編集)

公 示

教主降生2015年11月20日 日本聖公会大阪教区主教 主教 アンデレ 磯 晴久

下記の人事を発令いたします。

- 司祭 パウロ 井上 進次 2016年3月31日まで休養を命じる。
司祭 ウイルソン ウォーレン 2016年1月から3月まで毎月、第1、第4、第5日曜日、尼崎聖ステパノ教会における主日勤務を命じる。
司祭 ヨハネ 木村 幸夫 2016年1月から3月まで毎月、第2、第3日曜日、尼崎聖ステパノ教会における主日勤務を委嘱する。
司祭 サムエル 松岡 虔一 2016年1月から3月まで毎月、第2日曜日、恵我之荘聖マタイ教会における主日勤務を委嘱する。



守口ぶどうのいえは、守口復活教会の宣教・仕えるための器として2005年11月4日に開設されました。高度医療を受けるため、各地から大阪に来る患者の付き添い家族が安心して滞在できる施設として、東京教区東京聖テモテ教会が運営している「ぶどうのいえ」にならって会館・牧師館の2階部分に併設しました。この10年間に延べ514

守口ぶどうのいえ 開設10周年感謝の集い

司祭 ダニエル 山野上 素充

0人の方々が利用され、「患者の元氣のために付き添い家族が元氣になる」ことを目標に運営してきました。

秋晴れに恵まれた11月3日(火・休)、教区内教会、後援会員、東京・京都のぶどうのいえ、近隣病院の医療福祉相談員、かつての守口ぶどうのいえ利用者など合計110名の方が参加くださいました。守口ぶどうのいえの利用料収入は、運営費全体の10〜20%くらいで、大部分は多くの方々・教会からの後援会費・ご寄付・献金で支えられています。皆様方の続けてのご支援をお願いいたします。

10周年感謝の集いは3部構成で、第一部・日本のホスピスプログラムの推進者であり、現在淀川キリスト病院理事長の柏木哲夫医師による「支えること・寄り添うこと」というテーマでの講演を聴きました。支えるためには専門的知識・技術が必要である。

寄り添うためには傾聴する能力が必要である。「聴」とい

う字は「耳と心で聴き、目を合わせて聴く」ことで、守口ぶどうのいえの働きはホスピスが実行している「傾聴」と一致した働きであるとの趣旨で話されました。

第二部の感謝の集いは、講

連合男子会 一日修養会

ペテロ 鈴木 憲二

2015年度連合男子会一日修養会は10月10日(土)午



演会がユーモアに富んだ話だったので、初めて会った方々もうちとけ、楽しい会食と交流の時でした。

第三部の感謝礼拝は、管理牧師・磯崎久主教の司式、施設長・山野上素充司祭の説教で、力強く感謝・賛美をささげました。閉会に当たり辻本理事長は、柏木さんの講演の「聴く」を受けて「この漢字の右上に十字架がある。神は

人類の罪の苦悩を傾聴されて、キリストをこの世に送ってくださった。その十字架の死によって人は罪贖われて教会が建てられ、この守口復活教会は患者さんの家族の声を聴いて守口ぶどうのいえ設立へと導かれた」と締めくくり、感謝に満ちた一日でした。
(やまのうえ もとみつ・守口ぶどうのいえ施設長)

後1時30分より川口基督教会にて58名が出席し行われた。実行委員長、司会の岡田安朝兄(大阪聖アンデレ教会)によつて進められ、第一部はウイルソン・ウォーレン司祭の司式のもと礼拝が行われた。同司祭は今年7月にカナダから来日され、渡米中の岩城聡チャプレンに代わって流暢な日本語で司式された。礼拝後、会場を会館に移し、磯崎久主教による基調講演「教会は私たちみんなです。心をあ

わせて！」があつた。連合男子会会報No.37の巻頭に書かれた「同じ釜の飯を食う仲間、信仰共同体」を引用され、私たちはどのように教区、教会を指すのかを示された。その中で私たちが信仰の名刺を作るならどんな肩書きにするだろうということが印象に残った。「イエス様と友達」「イエス様に愛されているもの」など、他にも思いつく方もおられるだろうが、これは私たちがそうありたいと願うもので、一人一人に与えられている働きを共に分かち合い教会生活を送って行くことが私た

(次頁3段目につづく)

婦人会 秋の修養会

エステル 加納 佳世子



丸枠内部は講師の長尾真由美さん

福音記者聖ルカ日の10月19

日(月)、「輝く子どものいのち」と題して、淀川キリスト教病院ホスピス・こどもホスピス病院の看護部長・長尾真由美さんを講師にお迎えして大阪教区婦人会秋の修養会が大阪聖愛教会で開催されました。

(前頁よりつづく)
ちにとつて大事なことだと思
う。この後、磯主教から用意
された「あなたの、みんなの
教会(信仰)生活 あいうえ
お」のシートをもとに4つの
グループで話し合い、発表の

時をもった。第3部は宇野豊
兄司会のもと川口基督教会婦
人会の方々が用意して下さつ
た食事をいただき、一同懇親
の時間を過ごした。第1部の献
金34,580円は「原発問
題プロジェクトのため」に献

げられた。奏楽をして下さつ
た上谷衣代姉、会場を提供下
さった川口基督教会の皆様に
感謝します。
(すずき けんじ・大阪教区
連合男子会会長、尼崎聖ス
テパノ教会信徒)

ホスピスというと、積極的な
治療を行わないで、穏やかに
死を迎える場所のイメージが
ありましたが、お話を聞き
して、こどもホスピスは生き
るための場所である事を知り
ました。

という時を大切に生きるため
に、医療を受けながら自宅の
ように、家族や仲間と共に生
き、楽しく過ごす場所であり、
家族を含めてのケアがなされ
ています。

「あなたは高価で尊い、あ
なたはここにいていい」—こ
どもホスピスは、こどもの可
能性を信じてここにいてもい

こどもホスピスは、「家族、
仲間とともに生きる癒しと希
望の病院」の理念のもと、今

「あなたが高価で尊い、あ
なたはここにいていい」—こ
どもホスピスは、こどもの可
能性を信じてここにいてもい

また、家族の休息や、生活
の支援のためレスパイト・ケ
アとして、在宅療養中のこど
もをお預かりし、看護の負担
を軽減してもらおう家族のため
の病院でもあり、お話の全て
を通して、生きるための病院
であるという事が伝わってき
ました。

神の両手



今年が「土壌年」
だとは、

最近まで知りませんでした。
草木を育て、実りを人間に
もたらしてくれる大切な土。
しかし土質の悪化は世界中
で深刻な問題だそうです。
近くの公園を通りかかる

と、イチヨウの葉が沢山落葉
していました。コンクリート
の所に落ちた葉より、土の上
に落ちた葉のほうがなんとな
くうれしそうに見えました。
R・M・リルケの「秋」と
いう詩があります。
木の葉が散る、遠くからの

ように散り落ちる
空で遙かな庭園が すがれ
てもいづくかのように
否む身振りや 木の葉が落
ちる
そして夜には 重い地球の
大地が落ちる
すべての星から離れて 孤
独の中へ
わたしたち みなが落ちる
この手が落ちる
そして他の人びとを見よ

万物に落下がある
そのとおりだが「一人の
方」がいらしてこの落下
を限りなくやさしく 両
の手に受けとめる
(小塩節訳)
落葉をやさしく受け止め
てくれるのは土です。落っ
こちそうな人の心をそっと
やさしく受け止めてくれる
のは神の両手です。
(主教 アンデレ)

「こどもホスピスの存在を
知って周りの方にその必要性
を伝えていただきたい」との
想いは、出席者全員に伝わ
た事と思います。
(かのう かよこ・大阪聖ア
ンデレ教会信徒)

アングリカン・コミュニオン(全世界聖公会)の「宣教の5指標」について

司祭 ペテロ 岩城 聡

聖公会は世界に広がる教会です。世界規模での聖公会はアングリカン・コミュニオンと言います。その交わりの中心は、イギリスのカンタベリー大聖堂とそこにあるカンタベリー主教座です。そして、世界各国の聖公会は対等の交わりを結んでいます。それは、ローマ教皇を頂点とする階層的な構造を持っているローマ・カトリック教会と異なる点です。

アングリカン・コミュニオンを全体としてまとめ、進むべき方向を決めるのは、①カンタベリー大主教、②ランベス会議(全世界の主教の会議)、③全聖公会中央協議会(ACC)、④各国の聖公会の代表からなる会議、⑤首座主教会議、という四つの機関です。

現在アングリカン・コミュニオンで確認されている「5指標」は次の通りです。

- ① 神の国のよき知らせを宣言すること
- ② 新しい信徒を教え、洗礼を授け、養うこと
- ③ 愛の奉仕によって人々の必要に応答すること
- ④ 社会の不正な構造を改革し、あらゆる暴力に反対し、平和と和解を追求すること
- ⑤ 被造物の本来の姿を守り、地球の生命を維持・再生するために努力すること

アングリカン・コミュニオンは「宣教の5指標」を採択し、確認しています。「宣教」— わたしたちはそれぞれ多様な理解を持っています。「宣教」とは「布教」のことだと思っ

ておられる方もおられるかと思いますが、ここで「宣教Mission」というのはそれとは違っています。むしろ「教会の働き」全体を示すものだと考えてください。

最初はこの問題を提起したのは1984年のACC第6回会議で、その後1990年のACC第8回会議で再確認され、1988年ランベス会議で承認されました。その時には、社会の不正が世界的に大きな問題となっていましたので、次の四つの課題が確認されました。

- ① 神の国の福音を宣言すること
 - ② 新しい信徒を教え、洗礼を授け、養うこと
 - ③ 愛の奉仕によって人々の必要に応答すること
 - ④ 社会の不正な構造を改革するよう努めること
- このうち、①③までは、古代からキリスト教会が追求してきた宣教課題ですが、④の社会正義に関する課題が、教会が直面する大きな課題として浮かび上がってきたわけです。
- 1998年ランベス会議は、これに次の課題を付け加えました。
- ⑤ 被造物の本来の姿を守り、地球の生命を維持・再生するために努力すること
- これはもちろん、地球環境の破壊が人類全体の前に深刻な問題として迫ってきているからです。
- 2012年のACC第15回会議は、戦争はもちろん、DVなどさまざまな暴力がこの世界を覆っている現状に目を向け、第4項に、「あらゆる暴力に反対し、平和と和解を追求する」を付け加えました。
- 今、日本聖公会として大阪教区が大きな困難に直面しているとき、「宣教の5指標」を手がかりにして「宣教」教会の働

き」に対する理解を深めて豊かにし、イエス・キリストの呼びかけに応え、この世での証しと伝道、奉仕、正義と平和の課題、環境の課題などに教会としてより前向きに取り組むことが必要になっていきます。そこで、大阪教区報では、一つひとつの項目について連載で記事を掲載します。ともに考えるための参考にしていただきたいと思います。

(いわき あきら・川口基督教会牧師・常置委員長)

台湾聖公会教区会 出席訪問団のご案内

- ◆日時 : 2016年3月2日(水) ~ 3月5日(土) 3泊4日
- ◆訪問先 : 台北を中心に淡水、九份など
宿泊ホテル : 台北サントホテル
- ◆募集人員 : 5人 ~ 15人
- ◆費用 : 約85,000円(シングルをご希望の方は25,000円プラス)
- ◆参加教役者 : 磯主教、岩城司祭 他
- ◆申込期限 : 1月末
- ◆申し込み : 教区事務所まで

主催 : 大阪教区台湾交流委員会



Gグループ活動報告

グレース 内海紗英子



2015年9月、Gグループ(大阪教区青年会)は新体制で活動を始めることになりました。2014年3月にGグループが発足して以来、さまざまな奉仕活動を行ってきましたが、青年たちの中で企画運営するという体制が確立しておらず、当日のスケジュールなどパイプ役として大人の方々の手助けを必要としていました。青年会であるにも関わらず、その運営に青年たちが関わっていないのはおかしい、関わっていききたい、という思いが青年の中に生まれ、

新しく「運営」という体制を作ることになりました。現在、Gグループの運営メンバーは5人。毎回奉仕活動の前に成岡宏晃執事にも加わって頂き、ミーティングを行い、活動の詳細を決定し、奉仕させて頂く教会との打ち合わせ、参加メン

バーへの連絡などを担っています。また京都教区との協働も進んでおり、毎回教区の垣根を越えた活動が行われていることも今年の大きな成果だと思っています。

その「運営」体制ができてから、10月17、18日富田林聖アグネス教会でのペンキ塗り(大阪教区10人、京都教区4人)、10月25日聖贖主教会での草ぬき(大阪3人)、11月15日東豊中聖ミカエル教会でのイルミネーション飾りつけ(大阪3人、京都3人)を行いました。京都教区との協働の一環として、11月3日奈良基督教会バザー手伝いに2人、

11月21、22日京都聖マリア教会、大津聖マリア教会、京都復活教会のイルミネーション飾りつけに3人の青年がGグループから参加しました。(うつみ さえこ・川口 基督教会信徒)

大宗連 第60回部落解放研究集会報告

島崎藤村『破戒』の舞台を訪ねて

司祭 ペテロ

竹林 徑一

秋晴れの10月7日(水)、

8日(木)、一泊で信州北部・

長野方面へ、大宗連(同和問題にとりくむ大阪宗教者連絡会議)の第60回部落解放研究会集に25人で出掛けました。

聖公会からは、磯晴久主教と

事務局担当の竹林徑一、米虫 克次氏の3人が参加しました。

金沢経由で北陸新幹線「はくたか」の乗り心地を楽しみ、

飯山で下車、NPO法人「人權センターながの」の事務局

長・高橋典男氏の案内・解説で、

でフィールドワークしました。

翌日は、長野・善光寺の周囲にある被差別部落の歴史的背景を、男女2人のボランティア

アのガイドで学習しました。

1979年の第3回世界宗教者平和会議で、全日本仏教

若い頃から差別問題にとりくんできた高橋さんは、「自(次頁4段目につづく)

飯山市内の2寺院と墓地区、中野市の被差別地区を夕日が沈む寸前までフィールドワークしました。

会理事長・町田宗夫氏の「町田差別発言」が一つのきっかけとなり、2年後に同宗連(同和問題にとりくむ宗教者連帯会議)が発足して、全国的な差別戒(法)名の刻まれた墓石や位牌・過去帳(教籍簿)の調査が行われて、実態と問題の所在が明るみに出たのです。

若い頃から差別問題にとりくんできた高橋さんは、「自

(次頁4段目につづく)

被献日礼拝(聖餐式)

2016年 2月2日(火)

午前10時30分

於 堺聖テモテ教会

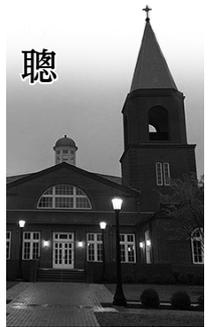
司式者 テモテ 内田 望 司祭
説教者 ジョイ 千松 清美 司祭

大阪教区婦人会役員会

ヴァージニア神学校を訪問して

大阪教区との絆を確かめ、強める

司祭 ペテロ 岩城



聰

米国聖公会ヴァージニア神学校のアングリカン・コミュニティオン研究センターからの招きを受け、9月28日から10月17日まで同校を訪問いたしました。3週間の間、すぐ近辺のワシントン特別区とヴァージニア州都リッチモンドを訪問した以外は、ずっと同校とその周辺に滞在しました。

ヴァージニア神学校の神学生は現在約200人、専任の教授陣は25人で、米国聖公会最大の神学校です。訪問の目的は、日本聖公会および大阪教区の現状を報告し、併せて日本聖公会の基礎を築いたC・M・ウィリアムズ主教の事績について、主教の出身校であるヴァージニア神学校に知らせることでした。ウィリアムズ主教は「道を伝えて己を伝えず」という座右の銘にもあるように、徹底して神と人とに仕え、ご自分のことについては定期的な報告を除けばほと

んど記録や著書を残しておられず、米国聖公会においても有名とは言えないのが実状です。そのために、2回の講演をアングリカン・コミュニティオン研究センターの主催で行いました。人数は多くありませんでしたが、教授陣を交えた熱心な聴衆に恵まれました。

図書館では貴重な資料を数多く見つけました。名出保太郎主教や側垣基雄司祭、安部騰司祭の写真もあり、大阪教区とヴァージニア神学校との強い絆を確かめることができました。

神学校ではほぼ毎日3回の礼拝があり、昼は聖餐式でした。礼拝には多様な形式が取り入れられており、米国聖公会の幅広さを感じました。神学校のイマヌエル・チャペルの聖別式にも参加しました。神学校のチャペルは5年前の火災で焼失し、400人を収容できる近代的な新しいチャ

ペルが建てられたのです。聖別式には1000人を優に超える聖職・神学生などが出席し、盛大に行われました。キャサリン・シヨリー総裁主教の司式、ジャスティン・ウェルビー・カンタベリー大主教の説教、そして、オルガンをはじめさまざまな聖品の聖別を、前総裁主教のグリズウォルド師、次期総裁主教のカリー師など、たくさんの方々が分担されました。チャペルも素晴らしいものですが、そこで歌われたり演奏されたりした音楽の素晴らしさは言葉で表現できません。

滞在中2回の主日がありましたので、アレキサンドリア市・神学校の所在地)の歴史的教会(シヨージ・ワシントンが通った教会)およびワシントン特別区にあるワシントン大聖堂(ナショナル・カテドラル)での礼拝に出席しました。カンタベリー大聖堂よりも一回り大きな聖堂に1000人の会衆が出席(座席

1000人の会衆が出席(座席

(前頁よりつづく)

分が一生懸命手を合わせてきた墓石に刻まれた文字が、差別戒名―人間にはつけない文字―だと分かったとき、部落の多くの人達が悔しさを抱えながら、碎いたり埋めたりした。この事実はしっかり後世に残さなければいけないという理想と、表に出しておくことによって、より厳しい差別に晒される現実との相克・葛藤があり、どちらがいいのか多くの論争があった」と、長年寄り添ってきた個人々の姿や心理を語りながら、



差別戒名墓石の前での学習会

宗教者たちに問い掛けられたのが心に強く残りました。冬期五輪のスキージャンプ台を間近にした中恩寺の本堂裏の木立の中に、50ほどの差別戒名墓石が集められて並んでいる前で、「墓石は自分からは語りかけてこない。皆が沈黙していくなかで声をあげ続け、人びとの、弱さと裏返しに暴力性が棘のように刺さるなかで傷つきながら、それでも明るさを失わず闘ってきた当事者の話を聞いて、気持ちを知ってほしい。そして、解放ってなにか、人間はなぜ尊いのかっていうことを、自分の問題として問うてほしい。当事者がこれだけ取り組んでいても、こんな状況を放置しておくのは恥ずかしい、おかしいとの声があがらないことを考えてほしい」と高橋さんに大きな宿題をもらった研究集会でもありました。

(たけばやし けいいち・社会宣教委員長・大宗連事務局長)

(次頁につづく)

(前頁よりつづく)

数は7000人分あるそうです。10250本のパイプを有するパイプオルガンの前奏と聖歌隊の合唱から始まる礼拝は、まさに聖公会そのものの荘厳な礼拝でした。この同じ大聖堂で、その後(11月1日)、新しい総裁主教マイケル・カリー師の着座式が執り行われることになりました。また、リッチモンドにあるウイリアムズ主教のお墓に参り

ました。十字架の形をした主教の墓石の前には、日本聖公会有志が1913年(逝去は1910年)に建立した記念碑が建っています。記念碑には「道を伝えて己を伝えず」という主教の座右の銘とともに、師に対する日本聖公会信徒の追慕の情が刻まれています。わたしたち夫妻は、その前で感涙を抑えることができませんでした。

ヴァージニア神学校と大阪教区の絆を確かめ、さらに固めることができた貴重な訪問の機会を与えてくださった主に感謝します。また、それを支えてくださった主教様を始め同労者の皆さん、教会信徒の皆さんに心からお礼を申し上げます。(いわき あきら・川口基督教會牧師、ウイリアムズ神学館教授)

世界の窓

◎カンタベリー大主教、パリのテロ事件について語る

カンタベリー大主教ジャスティン・ウエルビー師父は、英国テレビのインタビュウを受け、パリのテロ事件について悲痛な思いを語った。彼は「何故このようなことが起こるのですか」と神に祈り続け、その祈りの答えとして詩編56編の「あなたの革袋にわたしの涙を蓄えてください」という御言葉が与えられたという。そして「わたし達の苦しみは決して無駄にならない」と語った。大主教はテロリスト達の間違った

信仰を批判しつつ、「宗教は邪悪で歪曲した人々の自我を押し通すための、強力な武器となる。彼らは神の栄光のためであると信じているが、それは神のためではなく彼らの誤った思想に神を加えただけの話でしかない。信仰の倒錯は、今日の世界における最も絶望的な側面のひとつである」と述べている。また、彼は「テロリスト達の目的は第一に恐怖に陥れること、第二に憎しみをあおること、そして第三に社会を分断することにある。重要なことは、我々がこの三つの目的に対して強く抵抗し続けていくことである」と、テロとの戦いの必要

性を強調している。

(Anglican Communion News Service: November 23, 2015)

◎エリザベス女王がクリスチャンの結束と首座主教会議に言及
エリザベス女王は英国教会總會で演説し、クリスチャンの結束の積極的な前進と、2016年1月に予定されている首座主教会議のために祈る必要性を語った。聖パウロの言葉を引用し、女王は「キリストの大使として、和解という宣教を任されているのです。御言葉を宣べ伝えること、そして大変なことですが平和を作り紛争の解決に従事するの

は、有益なことであり宣教の重要な部分です。英国教会も同じくこの特別な働きを、他の信仰を持つ人々や信仰を持たない人々とも協調して、この地の平和のために奉仕するのです。大主教の皆様は、それぞれの新しい教会会議において、これまでの過程を受け継ぎ同じ重責を継承するのです。結束しましょう。英国教会の未来への歩みを識別する

教区の動き

常置委員会報告

9月10日(第12回定例会)

I. 主教報告

*東豊中聖ミカエル教会礼拝堂(西側)から壁を浸透して雨漏りがあり、緊急の対応が必要。
*任大彬司祭10/15、22日帰国。21日に主教と面談。

II. 協議事項

*磯天主教の新任主教研修への

ために、篤い信仰や判断力と経験で模索するだけではなく、交わりの中でひとつとされる尊い聖公会の伝統を継続しなければならぬのです」と訴えている。
(Anglican Communion News Service: November 24, 2015)
司祭 ヤコブ 松平 功
(まつだいら いさお・桃山学院大学チャプレン)

参加について。英国カンタベリー2016年1/29、2/8

*京都教区と大阪教区の合併を推進する委員会の最終報告について。

*第115(定期)教区会について。書記 千松司祭、書記補 古澤司祭。

10月23日(第13回定例会)

I. 主教報告

*聖社連第56回総会(10/15、17)が、金沢聖ヨハネ教会

教区関係教役者
逝去者記念聖餐式

◇ 1月13日 (水) 10:30 ~

於: 主教座聖堂 (川口基督教会)

説教者 主教 アンデレ 磯 晴久

- 1日 宣教師 ヘンリー・ラニング (1917 米)
- 司 祭 デイビッド・マーシャル・ラング (1946 英)
- 司 祭 ウイリアム・ロイストン・グレイ (1950 英)
- 3日 主 教 ウイリアム・オードリー (1910 英)
- 司 祭 河合 莞三 (1939)
- 8日 司 祭 テモテ 名出 望 (2015)
- 12日 司 祭 ヨセフ 側垣 基雄 (1965)
- 司 祭 ギデオン 小川 博司 (2002)
- 13日 伝道師 三木 八十五郎 (1918)
- 15日 司 祭 パーシー・A・スミス (1960 米)
- 司 祭 寺本 房吉 (1960)
- 19日 司 祭 ペテロ 宇野 秀太郎 (1944)
- 主 教 アーサー・リー (1958 英)
- 伝道師 今泉 穎子 (1970)
- 20日 司 祭 ヒカル 柳原 光 (1994)
- 主 教 オーガスチン 高野 晃一 (2015)
- 21日 司 祭 久永 光雄 (1937)
- 22日 主 教 ペテロ 松本 寛一 (1980)
- 25日 執 事 ト部 徳太郎 (1933)
- 27日 司 祭 サムエル 久保 道則 (2011)
- 30日 執 事 バルナバ 寺沢 久吉 (1945)
- ?日 司 祭 山下 有任 (1903)

◇ 2月10日 (水) 10:30 ~

於: 主教座聖堂 (川口基督教会)

説教者 司祭 ペテロ 齊藤 壹

- 1日 宣教師 エルザ・M・キーン (1949 英)
- 3日 司 祭 トマス 佐藤 時雄 (1989)
- 5日 司 祭 パークレー・フォーウェル・バクストン (1946 英)
- 8日 宣教師 フランシス・エドワード・ハモンド (1932 英)
- 10日 司 祭 祖山 達三 (1941)
- 司 祭 皆川 晃雄 (1952)
- 宣教師 フローレンス・マリアン・ファジル (1956 英)
- 13日 伝道師 マリア 奥田 ヤス子 (1949)
- 14日 司 祭 J・ハミルトン・クインビー (1882 米)
- 16日 司 祭 ステパノ 久保 登知雄 (1981)
- 17日 司 祭 ジョージ・ヘンリー・ポール 1929 英)
- 19日 伝道師 小橋 かつえ (1964)
- 20日 司 祭 ヨセフ 松岡 安立 (1972)

*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前 10 時 30 分から、主教座聖堂 (川口基督教会) で行われます。ご関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご参加ください。

II. 協議事項

しお子どもの家を中心に開催され、聖公会社会福祉連盟会長に磯主教が就任された。

*若手聖職者を中心に勉強会 (葬儀を中心) を開催する予定 11/29 聖贖主教会。

*尼崎聖ステパノ教会エレベータ新設工事について。

*久野利子姉 (堺聖テモテ教会) 遺贈の承認と土地建物の処分について。

教会・施設の動き

聖贖主教会

○ 2016年2月6日 (土) 13時30分より「十字架上の七つの言葉」についてのコンサートを、教会聖堂にて行います。

祝受洗

○ 聖ガブリエル教会

アウグスチノ・バレリアヌス (11月15日)

山田 圭一

魂の平安を
祈ります

祝受按

○ 聖ガブリエル教会

アウグスチノ・バレリアヌス (11月15日)

山田 圭一

○ 大阪聖ヨハネ教会

ペテロ (8月18日・77歳)

福島 剛

○ 大阪聖愛教会

浅野 美子

○ 石橋聖トマス教会

ヨセフ

山崎 泰詮

○ 堺聖テモテ教会

(9月12日・78歳)

○ 塚聖テモテ教会

ベタニヤのマリア

中村富美子

○ 大阪聖アンデレ教会

リベカ

(11月21日・享年71歳)

石川登和子

○ 守口復活教会

(10月7日・82歳)

○ 芦屋聖マルコ教会

(10月31日・81歳)

西尾 禎子

○ 大田聖アンデレ教会

(12月1日・85歳)

上田 郁子

○ 菅屋聖マルコ教会

(11月8日・95歳)

横尾 昭子